

職員についてお尋ねします。職員の人員及びその過不足の状況をお答えください。

○在籍者人数には「常勤」「非常勤」別の人数を記載してください。

※雇用形態にかかわらず、事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」となります。

※賃金の支払いを受けている方に限ります(ボランティアの方は含みません)。

※1つのサービス種類内で兼務している人がいる場合、主たる職種でのみ人数を記載してください。

問7

○常勤換算人数は、職種別(常勤・非常勤全員)の週平均の勤務時間を全て足し、常勤の従事者が週に勤務すべき時間数で割って算出(小数点以下第2位を切り捨て)してください。

○過不足の状況については「不足」～「過剰」の5段階の中から当てはまるものに○をつけ、その不足または過剰の人数を記載してください(適当の場合は人数不要)。

		在籍者人数	常勤換算人数	過不足の状況					不足または過剰の人数
				不足	やや不足	適当	やや過剰	過剰	
【訪問介護】 サービス提供責任者	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
訪問介護員	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
介護職員	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
看護職員	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
生活相談員・ 支援相談員	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
介護支援専門員 (ケアマネジャー)・ 計画作成担当者	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
PT、OT、ST、 柔道整復師等	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
ケア・アシスタント (介護助手)	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人
その他の職員 (施設長・医師・ 事務職員等)	常勤	人	人	1	2	3	4	5	人
	非常勤	人		1	2	3	4	5	人

問8

【問7で「1 不足」又は「2 やや不足」を選択された事業所のみお答えください。
人材不足や退職者が多いなどの理由として考えられるものについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 募集しても応募がない 2 募集しても適性な人材がない 3 離職率が高い(定着率が低い)
4 給料面の待遇が良くない 5 体力的な負担が大きい 6 精神的な負担が大きい
7 利用者や家族との人間関係のトラブルが多い 8 職員同士の人間関係のトラブルが多い
9 勤務時間が長い、残業が多い 10 夜勤や夜間の緊急対応がある
11 もっと好条件で募集している事業所がある 12 人件費に見合う収入が見込めないため採用できない
13 わからない 14 その他()

問9

【問7で「【訪問介護】サービス提供責任者」「訪問介護員」がいる事業所にお伺いします。
在籍している「【訪問介護】サービス提供責任者」と「訪問介護員」の年齢構成をご記入ください(人数を記載)。
※内訳の人数の合計が問7の人数(常勤、非常勤の合計)と合うようにしてください。

	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
【訪問介護】サービス提供責任者	人	人	人	人	人	人	人
訪問介護員	人	人	人	人	人	人	人

問10

【令和5年4月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の職員の採用者数と離職者数及びその内訳(常勤・非常勤の別、離職者の勤務年数別)をご記入ください。(人数を記載)

※雇用形態にかかわらず、事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」となります。

		採用者数	離職者数	離職者の勤務年数		
				1年未満の人数	1年以上3年未満の人数	3年以上の人数
【訪問介護】サービス提供責任者	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
訪問介護員	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
介護職員	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
看護職員	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
生活相談員・支援相談員	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
介護支援専門員(ケアマネジャー)・計画作成担当者	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
PT、OT、ST、柔道整復師等	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
ケア・アシスタント(介護助手)	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人
その他の職員(施設長・医師・事務職員等)	常勤	人	人	人	人	人
	非常勤	人	人	人	人	人

問11 問10で記入した離職者の離職理由についてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 定年退職のため 2 派遣契約期間満了のため 3 転居のため 4 結婚・出産・育児のため
5 家族等の介護や看病のため 6 労働時間・休日・勤務体制が合わなかったため 7 収入など経済的な理由
8 職場の人間関係に不満があったため 9 体調不良など身体的な理由 10 精神的な負担が大きいため
11 仕事の内容が合わなかったため 12 法人・事業所の理念や運営の在り方に不満があったため
13 他の介護サービス事業所で働くため 14 新型コロナウイルス感染症の影響のため
15 不明(離職時に理由を言わなかった、確認しなかった)
16 その他()

問12 貴事業所における外国人介護人材の募集・採用についてお答えください。(1つに○)

1つ
だけ

- 1 募集しており、採用している 2 募集しているが、採用には至っていない
3 以前は募集していたが、中止した 4 一度も募集していない

問13 【問12で「1」又は「2」を選択された事業所のみお答えください。】
外国人介護人材を募集・採用するうえでの課題についてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 コミュニケーションのとりづらさ 2 文化の違い 3 住居の確保
4 その他()

問14 【問12で「3」又は「4」を選択された事業所のみお答えください。】
外国人介護人材を募集していない理由についてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 人材が充足している 2 コミュニケーションがとりづらい 3 利用者の理解を得ることが難しい
4 法人の方針 5 その他()

問15 介護人材不足の打開策として有望と思われるものについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 賃金の大幅アップ 2 業務における体力的な負担の軽減 3 業務における精神的な負担の軽減
4 外国人介護人材の受け入れ 5 ICTや介護ロボットの活用 6 休暇のとりやすい職場環境の整備
7 職員の資格取得や能力向上に向けた支援の充実 8 福利厚生制度の充実 9 シニア層等の採用
10 世間的な介護職へのイメージアップ、社会的地位の向上
11 緩和したサービスなど未経験者が従事しやすい制度
12 その他()

問16 貴事業所職員に受講させたいと思う研修についてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 ケアプラン作成に関する研修 2 緊急時対応、事故対策に関する研修
3 介護予防に関する研修(要支援、日常生活支援総合事業) 4 認知症ケア、認知症予防に関する研修
5 高齢者虐待防止、身体拘束廃止に関する研修 6 ストレスマネジメントに関する研修
7 難病に関する研修 8 精神疾患に関する研修 9 終末期に関する研修(看取りを含む)
10 介護報酬、指定基準に関する研修 11 個人情報、プライバシー保護に関する研修
12 事業所と地域のネットワークに関する研修 13 多職種連携に関する研修
14 その他()

問17 介護人材不足に対し、行政(国、県、市)に望むことは何ですか。(複数回答可)

- 複数回答
- 1 資格取得等のキャリアアップへの支援
 - 2 介護業界のイメージアップや就職促進の取組
 - 3 外国籍労働者の受入れ支援
 - 4 従業員研修メニューの充実(資質の向上)
 - 5 ロボット等の介護機器の導入支援
 - 6 求職者と事業所のマッチング支援
 - 7 中・長期的な人材不足解消のために、若年層への啓発
 - 8 特にない
 - 9 その他()

問18 貴事業所における介護ロボットの導入についてお答えください。(1つに○)

- 1つだけ
- 1 導入している
 - 2 導入したことがあるが、現在は使用していない
 - 3 今後導入を検討している ⇒ 問22へ
 - 4 導入の予定はない ⇒ 問21へ

問19 【問18で「1」又は「2」を選択された事業所のみお答えください。】
導入している(導入していた)介護ロボットについてお答えください。(複数回答可)また、導入しているロボット種別ごとに導入効果を3つまでお答えください。

■ロボット種別

①移乗支援(装着型)



②移乗支援(非装着型)



③移動支援



④排泄支援



⑤入浴支援



⑥見守り・コミュニケーション支援



※イラストは経済産業省「ロボット介護機器開発・導入促進事業 研究基本計画」より

ロボット種別	導入状況 ※導入しているロボットに○を記入	導入効果 ※あてはまる効果について下記の番号を記入		
①移乗支援(装着型)				
②移乗支援(非装着型)				
③移動支援				
④排泄支援				
⑤入浴支援				
⑥見守り・コミュニケーション支援				

- 1 人手不足に効果
- 2 夜間の配置職員を減少
- 3 日中業務の負担が軽減
- 4 夜間業務の負担が軽減
- 5 作業時間が短縮
- 6 介護サービスが向上
- 7 職員の腰痛予防
- 8 職員の精神的負担が軽減
- 9 シニア職員の活躍促進
- 10 職員の採用促進

問30 介護従事者と医療関係者等が連携を進める上で、どのような課題があるとお考えですか。(複数回答可)

複数
回答

- 1 具体的な連携方法が分からない
- 2 異職種間での意思疎通が難しい
- 3 連携するためのツール(ICTを活用したシステム等)がない
- 4 所属している組織の理解が得られない
- 5 時間調整の難しさ
- 6 その他()

問31 地域支援事業において地域住民が提供主体となる生活支援サービスを実施することが可能となっていますが、現在、貴事業所が行っている業務のうち、その業務の性質上(専門的な知識の要否等)、地域住民が担うことができると思うものについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

(通所系・入所系の事業所が回答)

- 1 話相手
- 2 配膳・下善
- 3 シーツ交換
- 4 掃除
- 5 レクリエーション
- 6 外出支援
- 7 その他()

(訪問系の事業所が回答)

- 1 買い物
- 2 掃除
- 3 調理
- 4 乗降介助
- 5 話し相手
- 6 安否確認
- 7 服薬の声かけ
- 8 移動支援
- 9 その他()

問32 地域の支え合い活動との連携や協力について、貴事業所が既にしていることについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 部屋や車両(運転手を含む)の提供(無償)
- 2 部屋や車両(運転手含まず)の提供(無償)
- 3 部屋や車両の提供(実費程度の有償)
- 4 買い物、サロン、移動支援(無償)
- 5 買い物、サロン、移動支援(実費負担程度)
- 6 地域の構成員として意見交換会などに参画
- 7 地域の勉強会や研修へ講師として参画
- 8 認知症カフェなどへ専門職として参画
- 9 認知症カフェの運営
- 10 行方不明高齢者の捜索など地域からの依頼に協力
- 11 その他()

問33 地域の支え合い活動との連携や協力について、貴事業所が(現在はしていないが)今後出来そうなことについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 部屋や車両(運転手を含む)の提供(無償)
- 2 部屋や車両(運転手含まず)の提供(無償)
- 3 部屋や車両の提供(実費程度の有償)
- 4 買い物、サロン、移動支援(無償)
- 5 買い物、サロン、移動支援(実費負担程度)
- 6 地域の構成員として意見交換会などに参画
- 7 地域の勉強会や研修へ講師として参画
- 8 認知症カフェなどへ専門職として参画
- 9 認知症カフェの運営
- 10 行方不明高齢者の捜索など地域からの依頼に協力
- 11 その他()

問34 認知症ケアで難しく感じることについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 家族の認知症理解促進
- 2 当事者の強みを引き出す支援
- 3 本人家族を含む交流の場の創出
- 4 症状に応じたサービスの案内(受入先に困る)
- 5 その他()

問35 認知症施策の推進について、重点的に取り組むことが必要と思うものについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 認知症支援隊の養成・活用 | 2 当事者及び家族支援の充実 |
| 3 認知症カフェの充実 | 4 オレンジチームの創出 |
| 5 認知症サポーター養成講座の充実 | 6 認知症キャラバンメイトの養成 |
| 7 認知症初期集中支援チームの充実 | 8 行方不明高齢者の検索ネットワークの充実 |
| 9 グループホーム等の充実 | 10 認知症ケアにかかわる医療・介護従事者の育成 |
| 11 認知症にやさしい店舗の充実 | 12 成年後見制度の利用促進 |
| 13 その他() | |

問36 若年性認知症の方を受け入れていますか。(1つに○)

1つ
だけ

- | | |
|-----------|------------|
| 1 受け入れている | 2 受け入っていない |
|-----------|------------|

問37 【問36で「1」を選択された事業所のみお答えください。】
令和4年度の実績数を教えてください。

令和4年度実績:市内()人 市外()人

問38 若年性認知症の方を受け入れるに当たって難しいと感じることについてお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1 本人の意向に沿う形がとりづらい | 2 職員の知識・技量不足 |
| 3 介護保険サービス以外(障害年金など)の施策の理解 | 4 その他() |

問39 医療ニーズの高い利用者に対する支援についてお答えください。

支援可能かどうか教えてください。	対応している	対応しているが、かなり困難	実績はないが、対応可能と思われる	出来ない
① 末梢点滴管理をしている	1	2	3	4
② 中心静脈の管理をしている	1	2	3	4
③ 経鼻栄養管理をしている	1	2	3	4
④ 胃ろう栄養管理をしている	1	2	3	4
⑤ 腸ろう栄養管理をしている	1	2	3	4
⑥ がん性疼痛管理をしている	1	2	3	4
⑦ 麻薬処方をしている	1	2	3	4
⑧ 褥瘡の管理をしている	1	2	3	4
⑨ 人口肛門の管理をしている	1	2	3	4
⑩ 気管切開部の処置をしている	1	2	3	4
⑪ 在宅酸素療法をしている	1	2	3	4
⑫ CPAP※・鼻マスクをしている	1	2	3	4
⑬ 人工呼吸管理をしている	1	2	3	4
⑭ 尿道カテーテル管理をしている	1	2	3	4
⑮ 導入剤自己注射の管理をしている	1	2	3	4
⑯ 人工透析をしている	1	2	3	4
⑰ 吸引(気管切開以外)をしている	1	2	3	4
⑱ 血糖管理をしている (インシュリン自己注射可)	1	2	3	4
⑲ 血糖管理をしている (インシュリン自己注射不可)	1	2	3	4

※CPAP:いびきや睡眠時無呼吸症候群の治療方法のひとつ。

問40 医療ニーズの高い利用者への支援について、困っていることを教えてください。(複数回答可)

複数
回答

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 在宅医の不足 | 2 訪問看護の不足 |
| 3 訪問介護の不足(たんの吸引・身体介護) | 4 地域包括ケア病棟の不足 |
| 5 異常の早期発見・早期対応 | 6 家族への支援 |
| 7 終末期医療や看取りに対する意向の汲み取り | 8 介護サービス提供事業者間の連携 |
| 9 医療従事者側との連携 | 10 ショートステイの不足 |
| 11 その他() | |

問41 利用者の看取りは行っていますか。(1つに○)

1つ
だけ

- 1 行っている
- 2 行っているが、今後は縮小を検討している
- 3 行っていない
- 4 現在は行っていないが、今後は行っていきたい

問42 【問41で「1」又は「2」を選択された事業所のみお答えください。】
令和4年度の実績数を教えてください。また、看取りにあたってどのような工夫をされていますか。

令和4年度実績:()件 / 年

看取りにあたって工夫していること (例:看取り部屋・家族への対応)

()

問43 【問41で「2」「3」「4」を選択された事業所のみお答えください。】
現在行っていない理由や行う上での課題となっていることをお答えください。(複数回答可)

複数
回答

- 1 専門的人員がない
- 2 必要な設備がない
- 3 希望者がいない
- 4 他の利用者や家族の理解が得にくい
- 5 その他()

問44 最後に第9期介護保険事業計画に対する意見がありましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ありがとうございました。